



みよた

みんなと仲よくする子ども
よく考え、ともに学ぶ子ども
たくましい子ども

<http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0710038>

文責 齋藤 和代

(ホームページからも「御代田小学校だより」がご覧いただけます。)

子どもたちの様子で気になること

秋も深まってきました。子どもたちは元気そうに毎日登校してきます。しかし、最近少し子どもたちの様子で気になることがあります。

それは、子どもたちの会話です。朝の集団登校の時や帰りの時、ずっとゲーム関連のことばかり話している子どもたちがいます。学校に来てからも、友だちとの会話はゲーム、絵を描いたり粘土でものをつくったりするときも会話はゲーム、作業をするときも会話はゲーム。下校してから、友だちの家へ行って遊ぶ時もゲーム……。



県PTA研究大会で

10月5日(日)須賀川市で、福島県PTA研究大会がありました。本校PTAからも4名が参加しました。午前中の分科会のテーマは「インターネット依存症を防ぐための家庭教育」でした。講師の大堀先生のお話は、ややショッキングでした。少しご紹介いたします。

【依存とは】

それなしではいられない状態です。スタートは、成功体験や感動や気持ち良かったという体験などで、特に意志が弱い人に限ったことではありません。それが、→忘れられない→追い求める→コントロール不能→生活に支障というスパイラルに陥ってしまうのが依存症らしいです。スタートは、だれにでも起こりえます。

【ネット依存症】

現在、ネット依存症と言われる中高生は全国で8%程度で、推定51万8千人はいるといわれます。お隣の韓国では、ネットカフェでエコノミー症候群で亡くなるという極端な事例まで発生しています。

子どもが1日3時間、毎日ネットを使用したとすると、小1から中3まで9,855時間使用する計算になります。小1から中3までの授業時間の合計は6,500時間ですから、はるかに上回るわけです。

【何が問題か】

東京都の調査で、「インターネット・携帯・ゲームで困ること」の結果では、寝不足、視力低下、学習をする時間がない、不安になる、家族と話す時間の減少、人と話すのがおっくう等々、健康に関することの他に、人との関わりについての問題が挙げられています。グローバル化といわれる時代において、学力の一つとして、ますます重要視されるのは人間関係形成能力です。これに、重大な影響を与えるわけです。

【Apple 社を創設したスティーブ・ジョブズの家庭】

iPhone や iPad を創りだしたジョブズの家庭は意外にも、自分の子どもたちに、自らが創りだしたような最先端のデバイスに触れることを、厳しく制限しています。彼はリビングで家族と対面して共有する「会話の時間」を最も大切にしたいといいます。血の通ったコミュニケーションが、子どもを社会的に育てることができると信じていました。

ジョブズだけではなく、世界のテクノロジーの最先端を走る経営者の子どもたちへの教育方針には、決まって” No Screen “（電子デバイスから離れること）が取り入れられているそうです。

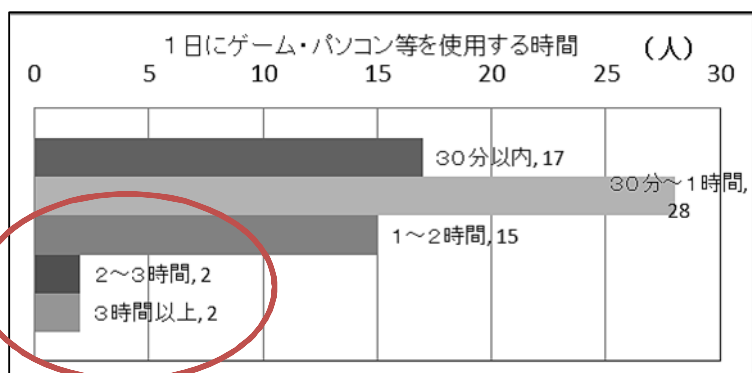
もちろん時代を考えれば、スマホなどの使用を一切禁止にすることは、逆効果かもしれません。また、その反動が来るかもしれません。時間を決めるなど部分的な禁止ルールが必要だと思います。

【保健調査から見る本校の実態】

10月のほけんだよりでは、ゲームやパソコンの使用時間調査の結果が紹介されています。それによると、半数以上の子どもが1時間以内ということでしたが、1日3時間以上使用する（小中学校の授業数よりも多い）子どもが2人、2～3時間の子どもも2人います。（多い学年とそうでない学年があります）

子どもたちにこういったものを全く与えないのも無理かもしれません。ゲームがあれば子どもは喜ぶし、静かにしています。

しかし、**最も感受性が高い時期である、今しかない子ども時代**に、本当にそれでいいのでしょうか？



週の予定

月 日	曜日	行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
10月20日	月		5	5	5	6	6	6
21日	火	○集会活動 ○薬物乱用防止教室（3年生）	5	5	5	5	6	6
22日	水	○就学時健康診断 ※6年生に、お手伝いしてもらいます。	4	4	4	4	4	4
23日	木	○過足先生の授業 1～4年生	5	5	5	6	6	6
24日	金		5	5	5	5	6	6
25日	土	○週休日	・	・	・	・	・	・
26日	日	○週休日	・	・	・	・	・	・